この號外は本紙に再錄せず

……手

……頻出

線に亙り完全に足並が……ゐたが五日朝の罷業は……從業員は夫々引揚場……一方電氣局も罷業の憂……車は午前四時半、市バ……電車は百七十二台（常……時八百三十八台、三百……たり甚だしいのはお客……分、新谷町が四分遅れ……轉され午前八時現在で……に於て市電約半數強、

よ」と意氣軒昂だ、六時近く市吏員中から選ばれた臨時乗務員がいろとりどりの服裝で運ばれて來る、野次馬連中「面白いスキャップ共—」とばかり圓タクの窓越し、一べつをくれてちよつと氣色ばむ

召集された臨時の乗務員は傳票を次々と登錄して眞新しい木札に名前をしるされた腕章が——車掌には鞄も——手渡しされ、一齊の訓示を受けた監督達は運轉手と車掌のコンビ作成に大童だ、赤襟嬢が二十人ばかり乗車した、さては裏切者？と見られたが實は昨日練習所入りしたばかりの新米さん、憧れだつたバスの車掌になれて嬉しくてたまらないらしい

始發豫定の六時半にはすつかり編成も間にあつてそれぞれ始發の停留所へ、脊廣にソフトさへ冠つた車掌、運轉手を乗せて現れた、どの停留所も來ないものとばかり思はれた足（？）が平日よりは十分ばかり遅れたが現れたのだから乗客達は滿足、ものものしく佇立してゐるお巡りさんは如何にも手持無沙汰、このところ朗らかな罷業風景である

柳島車庫

始發はお客一人に前後にいかめしい制服警官、大門行は須田町行に短縮されて、乗替がないといふのでお客さんいつまでも警官にこぼ……

市電罷業で兎も……たのは圓タク連……で流しにたあいもな……た助手を靴の先で……トライキだよー」「ふ……て走り出した圓タク、……街へ行くつもりなの……ガレーヂといふガレ……には既に空つぽ、鍵……たところでは流しまく……んまでが出動してま……ためいて自動車に……向けてゐる、けふこそ……與れなくては意氣……鏡もけさはとんでも……した、スタンドに乗……じみの運轉手の肩を……のはげた顔を無理に……たところ「おめでた……ひかねまじき風景、市……のお客をすつかり圓タ……つて五十錢を七十錢に……一圓に、正に「圓……上を強行しようとい……手の五日朝の張り切つ……ましいものがあつた

× × ×

罷業見物に醉狂れ姿の……

……線路を掃け……道路わき……とけてゐ……出した「ス……ー」といつ……あれく何……ら、市內の……チは朝五時……ぎておくれ……のお主婦さ……であわてふ……ホースを……しまうけて……ガソリン……い早起きを……入れた顔な……いて白粉……コリとさせ……」とまでい……電と圓太郎……クに吸ひと……七十錢を……」料金値……圓タク運轉……た顔はすさ……お主婦さん

首謀者は……處分か 電氣局側意外に強硬へ

……は午前八時各課長を集めて電氣局首腦部會議を開い……先づ同日の會議で「罷業を煽動したる者」の懲戒免職を協議……首謀數の懲戒免職者を出す模樣である ……てゐるが市……中である、

市電總罷業二景

（上）杉並區方南町の爭議團籠城組の炊出し（下）トラックで運ぶ臨時雇

當て外れの圓タク 五錢電車は鈴なり 追ッ拂ふお巡りさん

し合ひ車掌さんがみ……いではあやまる、始……して「停留場の名を……—」「釣錢が足り……—」等々小學生試……でも五時までに十……より多いと威張つ……

……カン帽を脫……電車を前に……いたものは……い時にけー……續出、それ……出して平日……六時半になると平常四十台が二十五台に減つてしまつた、柳島の始發間もなくまだ暗いうちに車庫に現れた八百屋さんの臨時運轉手五十歳老人など、半纏まがひの仕事服にゴムの長靴といふ姿、然も削りたての名札を附されて「さあ大分永くやりませんから……」と誠嚴しながら「ハア、私は明治四十四年から大正十五年まで運轉手をやつてました、大丈夫ですよ、昭和五年のストライキの時も早速出てきましたよ、何しろ不景氣ですからね」といふ返事だつた

早稲田車庫

早稲田營業所早川監督の運轉の始發は一分おくれ、魚屋さん四名が乗り込んで乗替券なし、三原乗替への洲崎まで十五錢と聞いてウワーと悲鳴、車掌さんに「いゝよ、だけど今日は刺身が高いぜ」——

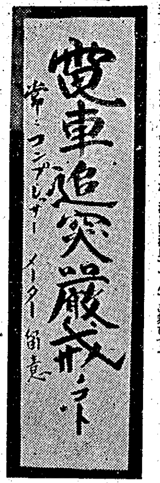
が電車道路できよろくしてゐる逆つた運轉手さつそうと停車して「どうで奧さん五十錢」と五本の指、停留所に配置された背廣姿の乗務員の前にこれまた三、四台の圓タクが片手の指で「電車なんか、來やしませんよ」とさんざ聲ひつとめたその携帶拡聲器をさつと突き出されて、あゝそのたまげた顔、青山車庫前では臨時運轉手が早速臨時ぶりを發揮して電車を脫線させてしまつたが、警戒の巡査に追ひのけられながらも次から次へと押し寄せる自動車の勇敢さ、それでも五時階級、六時階級七時階級の勤め人はこれまた勇敢に五錢均一の電車にぶら下つてまるであつ氣なく圓タク群の豫想をたゝきつぶして行つた

× × ×

氣まづい思ひは青バスの運轉手と車掌、六時半、市內五ケ所の車庫から嫌應なしに街の空氣に緊張させられて走り始めたが、「何だかいやな氣持ね」はほんとの乗務員だ、滿員に滿員でてんてこ舞ひするだらうとの心配も走り出してみれば取越し苦勞、ラッシュアワーになるまでは毎朝のことながらの空つぽだ、臨時運轉手、五錢均一で走つてゐる圓太郎の方がお客の興味を捕へて却ての好景氣で氣まづさもすつ飛び、さてくつまんないといつた恰好だ

× × ×

地下鐵は大したお膨りもなし、ストライキの噂をいつもより余計に積んでゐるだけだつた



御注意のはり札

局長さんの位牌に 笑ひ乍ら叩頭 紅焔あがる籠城

女車掌

罷業團籠城所のうち女車掌の多い自動車部の大塚車庫の籠城所大塚窪町を覗いて見る女車掌が二百五十名もゐるので女だけは籠城せず、午前六時頃からこゝへ顔を出す、そして、いつものやうに出勤時に掠す啣を爭議出席時に掠して「結束は百パーセントだわネ」となかく元氣にはしやいでゐる、家の中には氣の毒にも山下局長の位牌が飾られて然もローソク迄とぼされてゐる、女連中代る代る佛前に行つて叩頭をするたびに部屋內はドツと晴れやかな笑聲がわいて賑やかなことだ

白粉もつけずに九十六錢から八九年も働いてやつと最高の一圓三十錢の日給を貰へるやうになつたと思へばこの始末でせう、オールド・ミスにはなるしこれから先きどうして食つて行きますか？階段の中途から突き落されたやうなものですワ、勿論向ふがへたばる迄やりますワ

と紅い氣焔に議論すつかり上氣してゐる

電車運轉狀況（今朝八時現在）

▲電車▼

	【平常】	【八時現在】	【減少數】
三田	六七	四二	二五
青山	九七	七四	二三
新宿	九三	五一	四二
柳島	六一	二五	三六
大塚	五四	三七	一七
巣鴨	九五	四五	五〇

▲バス▼

	【平常】	【現在】	【減少數】
南千住	九二	四七	五五
赤坂見附	四一	一七	二四
錦糸堀	六九	三七	三二
廣尾	七二	三三	三九
早稲田	五五	二七	二八
神明町	四二	二五	一七
計	八三八	四六〇	三七八
濱松町	六三	五〇	一三
目黒	四六	三六	一〇
澁谷	八六	五一	三五

新宿	五八	五一	七
大塚	七六	四六	三〇
新谷町	七八	六九	九
計	四〇七	三〇三	一〇四

臨時運轉手希望者 五百名を突破 六十のお爺さんも混つて 採用テスト風景

市電では元運轉手をしてゐた六百九十名に急電で應援を求めると同時に青山車庫で三十歳以上五十歳以下の經驗ある身體強健なものの募集を始めたが、徹夜で押寄せてくるものなどがあつて午前八時までに四百名を突破した、さびた車庫裏のテスト線のレールを一回廻れば合格で腕章を巻いてトラックに積まれ各車庫へ配置されてゆく、……宮崎營業所長の添書付の在郷軍人の服をきたよちくの六十あまりの爺さんもやつて來る、また後から受付の前で「實はこの前の爭議で止めたものですが—」とよれくの黑サージに落魄の風姿をさらすものもある、御用きゝの小僧さんが自轉車を門の前で捨てゝ「車掌になりたいんですが—」と轉向を企てようといふのもある、笑ましい風景を描いてどしどし増加してゆく

◇

青山の自動車教習所前に五時頃までに、どしくと女車掌、運轉手がやつて來た、「裏切り者だナ」と見物人がさゝやく、……ところが實は從業員の卵で一月半の期間の修業中のものだといふのだつた運轉手が百五十名、女車掌が二百名、早速臨時にかゝる「圓タクで驅けつけて來たのは××さんと〇〇さんでしたナ」と先生に稱れる監督さんが督說するのだ、また臨時としては志願者を提出してゐたのや前職員百五十名もやつて來て八時までには各車庫に送られた……この間朝明け頃からワンサくと失業運轉手が押しかけて七時半に五百名を突破したので募集の看板を下してしまつた

交通巡査總動員

罷業勃發の朝警視廳では管下六百二十八名の交通巡査中から約五百二十名を市內の要所要所に配置して一方大塚、池袋、澁谷の各驛前には圓タクの臨時乗車場を設置して銀バスにあふれた乗客の輸送緩和を計り又四班の視察員を派して爭議の脈搏を注視してゐる

大館町（秋田）の大火 百余戸を燒く 歡樂境殆んど灰燼

【大館電話】五日午前一時卅分頃秋田縣北秋田郡大館町弁天町米穀商蛇川久五郎方名屋と菓子商川越友一方の間より出火、折柄東北の強風に加へて高台の爲水利の便悪く火焰は忽ち西南に延びて弁天町七十八戸、新開地廿九戸外に空家三戸合計百十戸を全燒して同三時卅分鎮火した、付近には郵便局、銀行などあり、電話線は全部燒け落ち不通となり常設消防隊は付近の花岡町その他より驅けつけたが水利に恵まれず手の施しようなく燃ゆるに任せ罹災者六百名を出した、北秋クラブ、加賀樓を除いて同町の歡樂境は全部灰燼に歸し藝妓酌婦が逃げ迷ひ混雜を見せた、町役場では直に玉林寺に臨時出張所を設け罹災者は遍照寺、淨應寺、宗光寺等に收容保護し公會堂武德殿等にも炊出し收容の準備を進めてゐる、原因は放火說もあり取調中、損害は凡そ四十五萬圓と見られてゐる

【註】大館町は秋田縣北部の中心都、木材を主要物産とし、秋田犬で名高い、戸數四千五百、人口一萬六千余

トラックに電車追突

五日午前五時半頃本所區上富士前市電停留場へ差しかかつた瀧野川からの荷物を満載したトラックが注意の信號でストップしようとした途端、驅込發新橋行市電運轉手本所區……細道員（三五）がかむしやらに突進して來てトラックに猛烈に追突、積荷の上から二名が振り落され花野新太郎（二〇）は右耳に裂傷トラック運轉手新井勝作（三三）助手小寺敏夫（二三）はガラスの破片を浴びて各二、三週間の負傷をした、トラックはかなり破損したが電車は無事

神田で三重衝突 俄か運轉手の失敗

五日午前六時廿五分市電萬世橋交叉點で引込線から新宿行＝運轉手非澤辰巳（二二）＝が青の信號で出て來た驅込發萬世橋行＝運轉手相澤松三郎（三三）が不馴れから時機を忘れてゐたゝめ新宿發萬世橋行＝運轉手古澤英雄＝が須田町方面行線路に入つて來て衝突、そこへ驅込行＝運轉手叶十郎（三七）＝が信號の不注意から三重衝突、負傷者はなかつたがいづれも臨時の運轉手と臨時車掌

今早朝から 電氣局緊張 市吏員各車庫へ

罷業第一日の電氣局——午前五時といふに早くも電氣局各課長の顔が揃ふ、その他市役所社會局を初め保健、水道、土木各局から動員された約千人の市吏員が聊かてれ氣味で集まつて來る、之に更に電氣局の六百人が加はり、電氣局構內空地に整列された机の前で乗務員證の交付を受け三、四十人づつ一團となつてこれも動員された砂利運びトラック四十台で各車庫に向つた、各車庫の共濟組合員食堂では一食十余錢の朝食が用意されてゐるこれを大急ぎでパクつくと「事故だけは起したくないネ」「すまじきものは……」などとつぶやきながら電車やバスへと乗る運轉手志望の臨時が机の上や並べた椅子の上に身體を貪ぼる泊り込みの電氣局員を叩き起す、それが午前六時頃から引つきりなしだ